

本ガイドラインは当社留学プログラム約款第8条「ホームステイの提供」に定める書面契約の一部となります。ここに定めない事項は当社留学プログラム約款によります。

1. はじめに

当社が提供するホームステイ提供サービスにお申し込みいただき誠にありがとうございます。このガイドラインをよくお読みいただき、ホームステイ期間中も必要に応じて参考にしてください。

2. ホームステイとは

- (1) 「ホームステイ」とは、海外からの「留学生」（ここでは、当社留学プログラム約款に定める「申し込み希望者」もしくは「申込者」のことをいいます）が現地在住の一般家庭に滞在し、家族の一員のように生活し、文化、言語、食文化、習慣の違いを経験することが目的の滞在方法です。
- (2) 留学生を受け入れてくれる家族を「ホストファミリー」と呼びます。ホストファミリーは働いている夫婦や子育てをしているシングルマザー、ホームステイを専業にしている方、仕事をリタイアされた方、大人数の家族で暮らしている方、一人暮らしの方、ペットと暮らしている方等、様々な方がいます。英国は人種や文化、言語、宗教等が混在し、ホストファミリーの中には英国出身でない方もいます。異なった家庭環境を理解し、体験することがホームステイの目的です。当社は規定を満たしたホストファミリーのみを提供するため、当社はこれに関する一切の苦情を受け付けることはできません。英国（イングランドとウェールズ）の法律（The Law of England）の Equality Act 2010 により、年齢、人種、宗教、性別等あらゆる差別は直接的、間接的に関わらず罪となり処罰の対象となりますので、そのような発言は絶対に慎みましよう。
- (3) 留学生との会話以外、特にホストファミリー間では英語以外の言語が話されることもあります。複数の言語が入り混じる家庭環境は英国ではごく当たり前のことです。ホストファミリーの中には英語が第一言語でない方もいますが、当社は規定を満たしたホストファミリーのみを提供するため、当社はこれに関して一切の苦情を受け付けることはできません。また当社は、「訛りの少ない標準的な英語を話すホストファミリー」等のホストファミリーの話す英語に関する要望は一切受け付けることができません。他人の英語のアクセント・発音に関して直接的もしくは場合によっては間接的に発言や質問等を行うことは英国では大変失礼な行為とされていますので、そのような発言は絶対に慎みましよう。
- (4) 「食事付きホームステイ」では規定回数の食事と規定の条件を満たした寝室が提供されます。その他、最寄り駅までの送迎や週末の家族行事への参加、通常の食事以外の特別な食事の提供等は全てホストファミリーの厚意によるものです。常に感謝の気持ちを忘れず、毎回言葉と態度で感謝の気持ちを伝えることが大切です。
- (5) ホームステイは一般的な観光旅行のようにホテルに泊まるのとは違います。ホストファミリーを尊重した礼儀正しい生活を心がけましよう。もしかすると留学生の期待する「完璧なホストファミリー」ではないかもしれませんが、その点も受け入れて滞在を楽しもうという前向きな考えが大切です。

3. ホームステイの種類

- (1) 通常、Half boardと呼ばれる、寝室（ベッド、勉強机、椅子）と毎日の朝食・夕食が提供されるホームステイとなります。

- (2) 専有バスルームや広い部屋、毎日の継続的な追加の食事や増量等の希望がある場合は別途当社が定める追加料金が発生します。

4. ホストファミリーの確定

- (1) 留学生の要望がある場合はそれを優先し当社からホストファミリーを提案します。申し込みから滞在開始まで時間に余裕がある場合は複数のホストファミリーを提案できる場合がありますが、当社はこれを保証しません。申し込みが遅れた場合、ホストファミリーの空き状況によっては複数のホストファミリーの提案が難しい場合もあります。
- (2) アレルギーや食事制限、宗教上の制限等、必須の要望を優先しホストファミリーの提案をしますが、必須ではない要望の場合は必ずしも要望通りの提案ができるという保証はありません。
- (3) 当社は複数の留学生に並行してホストファミリーを提案します。確定が遅れると希望のホストファミリー先の滞在を確定できないこともあります。
- (4) 個人情報保護のため、ホストファミリーによっては当社が提供できる情報にばらつきがある場合があります。また、ホストファミリーの連絡先はホームステイ先が確定してから伝えられます。
- (5) ホームステイ先が確定したら、到着する数日前に挨拶と到着時間の連絡をしましよう。

5. 治安と安全

- (1) 英国の治安は日本と比較すると地域によっては不安を感じることもあるかと思いますが、特に到着してすぐは道に迷う可能性も高いので、夜中に一人で出歩かないようにしましよう。また、携帯電話を操作しながら歩いたり、音楽をイヤホン等で聞きながら歩いたりする行為は周囲に気を配れなくなり大変危険ですのでやめましよう。
- (2) 外務省の海外安全ホームページ (<http://www.anzen.mofa.go.jp>) に発表される海外安全情報を定期的に確認し、英国の最新情報を自己責任にて把握しましよう。
- (3) ホストファミリーに地域の治安について教えてもらいましよう。英国には一人では歩かない方がいい道、行かない方がいい場所がある地域もあります。
- (4) 外出時には毎回必ず玄関の鍵と部屋の窓を閉めましよう。原則、家の中に誰かがいても玄関の鍵を開けたままにははいけません。鍵のルールもホストファミリーに確認しましよう。
- (5) 鍵を他の人に貸してはいけません。また、鍵の複製は一切許可されていません。部屋には鍵がついていない場合もありますが、ホストファミリーは清掃以外で留学生の許可なく部屋に入ることはありません。貴重品は自己責任にて鍵のかかる場所に保管しましよう。
- (6) 鍵を紛失しないよう安全に管理しましよう。鍵を紛失した場合は、すぐにホストファミリーに報告しましよう。紛失した鍵の交換や複製、再発行に関する全費用は留学生が負担し、当社はこれに関する一切の責任を負いません。

6. 家庭内のルール

- (1) 冷蔵庫、キッチン設備、電話、洗濯設備、電化製品、その他ホストファミリーの家の設備の使用は、全てホストファミリーがルールを決めています。必ず使用する前に使用していいかの許可をとり、正しい使用方法を守りましよう。

- (2) その他、ドアの開け閉めの方法や鍵や窓の開け方、使用済み食器の置き場所、洗濯の頻度、夜の門限等家庭ごとのルールがありますので、滞在開始日に確認してください。

7. 食事

- (1) 食物アレルギーや食べられないものがある場合、宗教や思想上食事制限がある場合、留学生は自己責任にてホストファミリーに事前に伝えましよう。場合によっては対応が難しい場合もありますので、厳しい食事制限がある留学生は申し込み時に当社に書面にて報告いただきます。
- (2) 朝食はシリアルやトースト、飲み物を自分で用意して食べるのが一般的です。一人で食べることも多いので、食器類をどこに片付けたいかを事前にホストファミリーに確認してください。
- (3) 夕食はホストファミリーと一緒に食べますが、場合によっては一人で食べることもあります。夕食に数日間同じ食事を食べ続けるのは英国では一般的なことです。電子レンジでの調理のみの食事も広く普及しています。日本のように毎日違った新鮮な食材を調理して温かいうちに食べる文化はあまりありません。通常のメニューは肉か魚と野菜に食後のコーヒーか紅茶ですが、一皿のみの料理や冷凍食品を食べることもあります。
- (4) 食事中、食卓においてある調味料を使って自分で味付けをすることもありますが、もしかすると味気なく感じられるかもしれませんが、日本の食文化とは大きく違うことを認識してください。
- (5) 事前に夕食を食べないことが決まっている場合や帰宅が遅れる場合、ホストファミリーに報告しましよう。余裕を持って伝えることで、ホストファミリーは買い物や食事の準備の無駄を省くことができます。
- (6) どうしても食事が口に合わない場合は、まずはホストファミリーに相談してください。それでも解決しない場合はその旨を当社に報告いただけたら問題解決に向けて協力しましよう。
- (7) 原則、キッチンの使用は一切許可されていません。お湯は電気ケトルを使用して沸かします。
- (8) 冷蔵庫を利用したい場合、冷蔵庫内のどの棚を使用していいかホストファミリーに事前に確認しましよう。

8. 部屋

- (1) 部屋は清潔に使いましよう。ごみはホストファミリー指定の場所に処分し、部屋に放置しないようにしましよう。
- (2) 部屋への訪問者がいる場合は、事前にホストファミリーに承諾を得ましよう。原則、ホストファミリーが定める時間（例えば午後11時）までに訪問者は退出する必要があります。
- (3) 通常、冬季の暖房は就寝時（例えば午後11時以降）に切られます。また英国では必要以上に暖房をつけ続けて部屋を暖かくすることはありません。寒い場合はまず厚手の服を複数枚着ましよう。それでも寒い場合はホストファミリーに相談しましよう。
- (4) 英国の一般家庭には冷房設備（エアコンディショナー）がありません。英国の夏は日本よりも穏やかな気候のため、暑い日でも窓を開け外気を取り入れることで涼しくなります。水分補給を忘れず、熱中症に注意しましよう。
- (5) 部屋の中で音楽を再生したり、テレビ・ラジオ等をつけたりする場合、音量に注意しましよう。

- (6) 英国の電圧は230V、周波数は50Hz、プラグの形状は先が四角い三本足のBFタイプです。経験できないようなことを広い心を持って味わうのも留学の貴重な体験です。
- (7) 部屋以外にリビングルームやダイニングルーム等がある場合、ホストファミリーと共有します。
- (6) 鼻をすすったり、音を立てて食べたりする行為は英国ではマナー違反となりますので慎みましょう。

9. バスルーム

- (1) 部屋に専有バスルームがある場合を除き、ホストファミリーとバスルームを共有します。
- (2) 通常、温水洗浄便座やビデの設備はありません。
- (3) シャワーヘッドは手に持って使うタイプと壁に固定されているタイプがあります。水圧が弱く感じられることもあるかもしれませんが、シャワーを浴びるには十分な水圧です。
- (4) 通常、浴槽にお湯をためての入浴はせずシャワーで済ませます。浴槽がない家庭も多いです。入浴できる場合でも、通常、お湯は浴槽の3分の1程度までためて、他人とお湯の使い回しはしません。
- (5) シャワーは長時間（例えば10-15分以上）浴びると給湯設備によってはタンクにためているお湯がなくなり、再びタンクにお湯がたまるまで次に利用する人がシャワーを浴びられなくなってしまうので注意しましょう。
- (6) 朝や夜の忙しい時間帯はバスルームの利用に待ち時間が発生することもあります。きちんと順番を守り他人のプライバシーを尊重しましょう。
- (7) バスルーム使用後は自分が気持ちよく利用できる状態に戻しましょう。汚した場合は自分で掃除しましょう。汚れがひどい場合はホストファミリーにすぐに報告し、放置しないようにしましょう。

10. 洗濯

- (1) 洗濯は週に一回、ホストファミリーが留学生の代わりに行くか留学生自身が行います。
- (2) 留学生自身が洗濯をする場合、ホストファミリーに洗濯の方法と洗濯物を干す場所を確認しましょう。
- (3) アイロンが必要な場合、ホストファミリーに相談しましょう。

11. 文化の違いとマナー

- (1) ホストファミリーと会った際は挨拶を忘れずにしましょう。特に朝の挨拶は重要ですので、忙しくても一言でも声がけすることを心がけましょう。
- (2) 食事を提供してもらった、ドアを開けてもらった等、どんなに小さな当たり前のようなことでも、何かをしてもらった際は必ず感謝の気持ちを言葉と態度で伝えましょう。
- (3) 何か分からないことがあったら、ホストファミリーに聞きましょう。どんなに些細なことでも、重大な問題につながることもありますので、「これでいいだろう」という自己判断で済ませないようにしましょう。
- (4) 何かを断ったり拒否したり自己主張したりすることは、英国では大切なことで、決して相手に失礼なことではありません。嫌なことにははっきりと意思表示をしましょう。
- (5) ホームステイに限らず、公共交通機関や学校等の公共の場所で日本との文化の違いにより、もしかすると周囲の方の話し方や態度、食生活や衛生観念等に驚かれることもあるかもしれません。英国は人種や文化、言語、宗教等が混在しているため、日本では

12. ホストファミリーとの会話

- (1) ホストファミリーと積極的に会話をして英語の練習をしましょう。
- (2) ホストファミリーは英語教師ではありません。忙しい時間帯等、状況によっては留学生と十分な会話ができないこともあります。
- (3) もしかするとホストファミリーの話す英語は学校等で聞く英語と違うかもしれません。英語の中にも様々な違いがあることを理解することは英語学習において重要なことです。ホストファミリーの第一言語が英語でない場合、留学生の英語学習の難しさを理解してもらえる利点があるかもしれません。
- (4) 必要に応じて辞書やオンライン翻訳サービス（例えばGoogle翻訳）を利用しましょう。